

HELLO

日本人学校

12歳の本気

毎年、シンガポール日本人学校の三校では、文集『やし』を編集しています。その際に表紙や裏表紙には児童の作品を飾っています。チャンギ校は例年、6年生の希望者が挑戦していましたが、今年は6年生の全員が挑戦することにしました。学校に残る「やし」のバックナンバーの表紙絵を参考にし、イメージを思い思いに描いてから取り組み始めました。「今年は、SG60だから…」とか「今まで選ばれた題材は避けた方がいいな…」などと戦略をたててから考える子もいました。

夏休み明けに「やし」の編集委員会で選考を開始しましたが、どの作品も秀逸なものばかり。僅差でシンガポールフライヤーを描いた作品が選ばれました。テーマのえらび方、画面の構成、細部への描きこみ、画材に何をを使うかなど、細かく見ていくと、その子その子の工夫や苦労が伝わってきます。教師という仕事をしていると、子供の本気に驚かされる瞬間があります。今回はまさに、12歳の本気をひしひしと感じたのです。

シンガポール日本人学校チャンギ校 教諭 土田 昇



SINGAPORE - JAPAN
DIPLOMATIC RELATIONS
1966 - 2026



